ネコロジー

環境にやさしい、物流をつくろう。

台車と新スリーターはCO2がほぼ出ません。だって人がエネルギーですから。

できるだけ車を使用せずに集配することで、車両台数を抑制し、CO2排出量を削減するために、私たちは台車や新スリーターによる集配の拡大に取り組んでいます。市街地や住宅密集地域を中心に展開しているサテライトセンターではすでに、（一部で軽自動車を使う以外は）車両の代わりに台車と新スリーター（リヤカー付き電動自転車）が大活躍。距離のあるエリアでは車両と台車を組み合わせた「バス停方式」を活用しています。「バス停方式」とは、エリア内にいくつかある停車ポイントに集配車を決まった時間に停めて、そこからセールスドライバーやフィールドキャストと呼ばれる集配員が、新スリーターや台車に荷物を積み替えてお届け先までの集配を行うヤマト運輸（株）独自の集配方法です。効率的な集配ができるだけでなく、車両の走行距離を減らせるのでCO2排出量の削減にもつながっています。「最初は少しとまどいましたが、慣れるとこちらの方が断然ラク！　小回りがきくので住宅街の路地でも効率よく集配できるし、CO2も出ないから環境にもいいし。なにより、地元の方とよく顔を合わせるようになったので、挨拶したり、声をかけられたり、いままで以上にコミュニケーションが増えてうれしいです」という声がセールスドライバーから聞こえています。

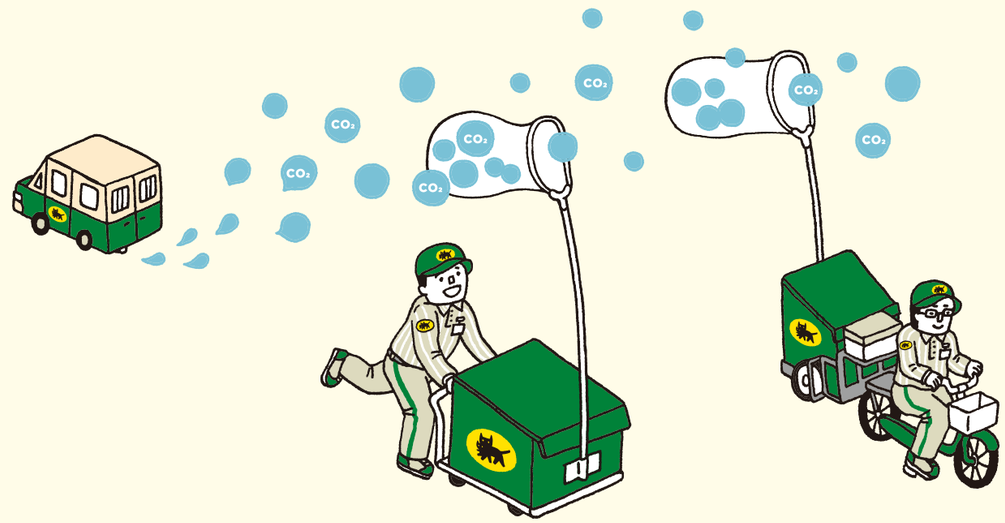
バス停方式

新スリーター

台車

車の替わりに人がダッシュした分、

車の出すCO2も奪取しました。



ヤマトホールディングス

Copyright © 2012 YAMATO HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.